

# 明治村 だより

冬号 Vol. 38

目次

- メイジ 錦絵 グラフィティ .....2
- 特別展「はつはるの錦絵」より 絵双六 .....4
- 明治村 子どもかがやきプラン .....5
- 冬の明治村—催しものご案内— .....6
- A La Meiji-mura .....7



楊沙尚延



- 51番地-67番地**
  - ① 聖ザビエル天主堂
  - ② 金沢監獄正門
  - ③ 小那沙美島燈台
  - ④ 天童眼鏡橋
  - ⑤ 隅田川新大橋
  - ⑥ 大明寺聖パウロ教会堂
  - ⑦ 川崎銀行本店
  - ⑧ 皇居正門石橋飾電燈
  - ⑨ 内閣文庫
  - ⑩ 東京駅警備巡査派出所
  - ⑪ 前橋監獄雑居房
  - ⑫ 金沢監獄中央看守所・監房
  - ⑬ 宮津裁判所法廷
  - ⑭ 菊の世酒蔵
  - ⑮ 高田小照写真館
  - ⑯ 名鉄岩倉支所(岩倉ホール)
  - ⑰ 帝国ホテル中央玄関(ポーツマス条約調印テラス)
- 34番地-50番地**
  - ⑱ 第四高等学校芸術部(無声堂)
  - ⑲ 日本赤十字社中央病院
  - ⑳ 歩兵第六聯隊兵舎
  - ㉑ 名古屋成徳院(知徳院文化財)
  - ㉒ シアトル日米福音教会
  - ㉓ ブラジル移民住宅
  - ㉔ ハワイ移民集会所
  - ㉕ 六郷川鉄橋
  - ㉖ 尾西鉄道蒸気機関車1号
  - ㉗ 蒸気機関車12号・9号・三等客車
  - ㉘ 鉄道新橋工場(機械部)シシク精紡機(重要文化財)
  - ㉙ 菊花御紋章付平判書(重要文化財)
  - ㉚ 工部省品川硝子製造所
  - ㉛ 宇治山田郵便局(重要文化財)
  - ㉜ 本郷青之床
  - ㉝ 小泉八雲避暑の家
  - ㉞ 興服座(重要文化財)
  - ㉟ 半田東湯
- 24番地-33番地**
  - ㊱ 京都市電
  - ㊲ 北里研究所本館(医学館)
  - ㊳ 幸田露伴住宅「駒牛庵」
  - ㊴ 西園寺公望別荘「坐漁荘」
  - ㊵ 茶室「亦楽庵」
  - ㊶ 品川燈台(重要文化財)
  - ㊷ 喜島燈台附属倉庫(重要文化財)
  - ㊸ 長崎居留地二十五番館
  - ㊹ 神戸山手西洋人住居
  - ㊺ 京大大学車寄
- 14番地-23番地**
  - ㊻ 千早赤阪小学校講堂
  - ㊼ 第四高等学校物理化学教室
  - ㊽ 東山製粉所(重要文化財)
  - ㊾ 清水医院
  - ㊿ 東松家住宅(重要文化財)
  - ㊽ 京都市電
  - ㊽ 安田銀行会津支店
  - ㊽ 札幌電話交換局(重要文化財)
  - ㊽ 蒸気自動車(鉄道記念物)
  - ㊽ 京都七條巡査派出所
- 1番地-13番地**
  - ㊿ 第一高等学校正門
  - ㊿ 大井牛肉店
  - ㊿ 三重県尋常師範学校蔵持小学校
  - ㊿ 近衛局本部付属倉
  - ㊿ 赤坂離宮正門門舎
  - ㊿ 聖ヨハネ教会堂(重要文化財)
  - ㊿ 学習院長官舎
  - ㊿ 西郷従道邸(重要文化財)
  - ㊿ 森岡外夏目漱石住宅
  - ㊿ 東京盲学校車寄
  - ㊿ 二重橋飾電燈
  - ㊿ 鉄道局新橋工場
  - ㊿ 明治天皇御遺重太后御車(鉄道記念物)
  - ㊿ 三重県庁舎(重要文化財)

下記カレンダーの■が休村日です

| 2004年 12月 |    |    |    |    |    |    | 2005年 1月 |    |    |    |    |    |    | 2005年 2月 |    |    |    |    |    |    |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----------|----|----|----|----|----|----|----------|----|----|----|----|----|----|
| 日         | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日        | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日        | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
| ■         | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7        | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14       | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| ■         | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18       | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25       | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
| ■         | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25       | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |          |    |    |    |    |    |    |
| ■         | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |          |    |    |    |    |    |    |          |    |    |    |    |    |    |

★毎週土曜日は、小・中学生の入村料が無料になります。

『明治村 だより』 第39号発行のお知らせ  
 発行時期 平成17年3月(予定)  
 申込方法 「明治村だより」第39号ご希望の旨及びご住所・お名前を明記の上、送料140円の切手とともに封書にてお申し込み下さい。

平成16年12月10日発行  
 『明治村だより』第38号(平成16年 冬)  
 発行 博物館明治村  
 〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地  
 電話 (0568) 67-0314  
 ◎ホームページ <http://www.meijimura.com>  
 製作 大日本印刷株式会社

# メイジ・錦絵・グラファイテイ

## はじめに

明治期の絵画資料の一つに錦絵があります。錦絵は木版画の一種で江戸時代後半にその技術が確立したものです。江戸時代には描かれる対象が人物や風光明媚な景色がほとんどでしたが、明治時代になると街の様子や、そこに集う人々の様子など、より身近なものがテーマとなってきました。いわばニュースがそのテーマとなったともいえます。ここでは錦絵が石版画などにその座を明渡し、明治三十年代までを四つに区分けし、見ていきたいと思います。

## 時代は変わった

慶応四年（一八六八）六月に天皇の東幸が内定し、翌七月江戸を東京と改称し都と定め、九月二十日には明治天皇は京都を発ち、二十日余をかけて十月十三日東京に到着されました。その行列は総勢三千名を越え、江戸時代にはその姿を人々の前に表すことのなかった「天皇」の存在を沿道の人々に印象づけ、また時代が変わったことを知らしめたのでした。東幸の様子は「東京府京橋之図（図1）」「東京府銀坐通之図」などの錦絵に描かれ、天皇のお姿こそ直接描かれていませんが、鳳輦や

## 文明開化の風景

幕末から明治初期に描かれた錦絵はその題材を「新しい街」開港地に求めているものが少なくありません。嘉永七年（一八五四）の日米親善条約締結に続き、安政五年（一八五八）の日米修好通商条約をはじめいわゆる安政五カ国条約締結により、江戸幕府は貿易の自由を認め、実質的に開国に踏み切りました。下田・箱館・神奈川（横浜）・長崎などの開港、江戸・大阪の開市が決まり、そこには居留地と呼ばれる外国人居住区が設けられました。居留地に建設された異人寺（図3）



図1 東京府京橋之図 明治元年 月岡芳年



図2 北陸東海御巡幸石川県下越中国黒部川図 明治11年 三島雄之助



図3 横浜商館天主堂之図 明治3年 歌川広重（三代）



図4 東京築地ホテル館 明治3年 歌川国輝（二代）



図5 東京高輪海岸蒸気車鉄道ノ図 明治4年 歌川広重（三代）



図6 第一大区京橋商店煉瓦石繁栄図 明治6年 歌川国輝（二代）

や東京の築地居留地に設けられた築地ホテル館（図4）などが錦絵に描かれ、明らかにそれまでの時代とは異なる風俗習慣などがもたらされたことを視覚的に訴えています。

また、明治五年に東京の新橋と横浜の間に鉄道が開通すると、鉄道の線路を敷くための土地買収に際しなかった場所は海を埋め立てて鉄道を通した様子（図5）、新橋駅や横浜駅周辺の繁栄や、馬車が市中の交通機関とされると東京銀座を馬車が駆け巡り（図6）、瓦斯灯が点灯された様子が、誠にタイムリーに出版され、販売されました。

## 不平等条約改正のために

日本が開国するにあたって締結した前出の安政五カ国条約は、「治外法権」や、「日本への輸入品の関税を自由に決めることができない」、「一方的な最惠国条約」などを認め、日本にとっては著しく不利なものでした。明治政府はこの不平等条約改正のために、明治四年、岩倉具視を特命全權大使とする総勢一〇〇名を越す遣外使節を派遣しました。が、改正交渉は最初の相手国であるアメリカで要求を全面的に拒否され、以後交渉は全く行わず視察旅行となりました。イギリスはじめヨーロッパ諸国を一年ほど歴訪し、使節団は帰国の途に着きましたが、日本と欧米の技術力の差を目的に当たりにした使節団副使の大久保利通や伊藤博文は、帰国後殖産興業政策や欧化政策を推し進めました。殖産興業を推し進めるため開催した内国勸業博覧会開場式（図7）を描いたものや、鹿鳴館風の衣裳に身を包んだ男女が音楽や舞踏に興じる様子（図8）を描いたものなど、政府の意向を反映したと思われるものが多数製作されていたようです。条約改正は簡単には成し遂げられず、明治三十二年（一八九九）に治外法権など一部が撤廃

され、すべてが改正されたのは明治四十四年（一九一）です。

## 錦絵の最盛

錦絵が最高潮を迎えるのは、明治二十年代です。現在各地に遺されている錦絵の量から推し量ることのできる出版量は、明治時代の前半に比べてはるかに多いものです。ちょうどこのころは、国内の制度が整いはじめ、明治二十二年（一八八九）の憲法発布式（図9）、翌年の帝国議会の開設（図10）、明治二十七年（一八九四）の大婚二十五周年記念式典（図11）などは格好の画題となり、同じテーマで何人も画家によって、あたかもその場に居合わせたように描かれています。そこには東幸の際は御簾に隠れてそのお姿を目にするここのでできなかった天皇や皇后のお姿を描き出し、人々に強烈にその姿を印象づけようという意図が隠されているかのようです。

## おわりに

錦絵は単にその時々々の風俗を写し、描いたものでしょうか。もちろん、災害や戦争などを描いたものも少なくありませんが、絵師たちの眼差しはあまりに時代を巧みに映しているように思えてなりません。



図7 大日本内国勸業博覧会開場式之図 明治10年 橋本周延



図8 貴顕舞踏の略図 明治21年 橋本周延



図9 憲法発布式之図 明治22年 橋本周延



図10 帝国議会議事堂之図 明治23年 島田延一

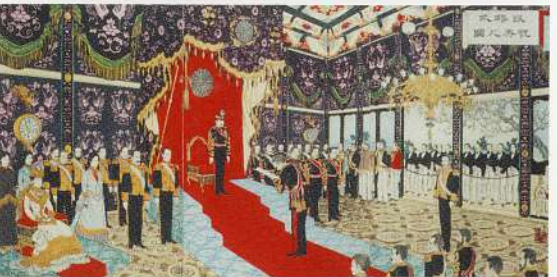


図11 銀婚式祝典之図 明治27年 安達吟光

# 明治村 子どもかがやきプラン 開催中

毎週土曜日に開催している子ども（小・中学生）向けのイベントです。（参加費は無料）

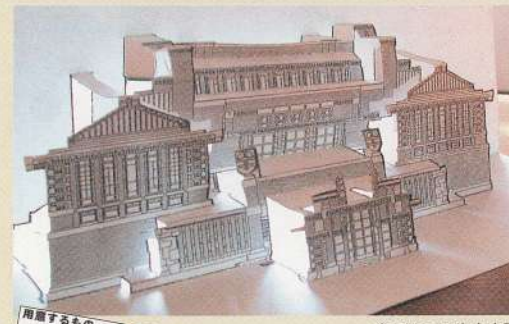
「明治村 子どもかがやきプラン」とは  
 未来の日本を創る心豊かでたくましい子どもを社会全体で育てるために、子ども達の居場所（活動拠点）を整備し、地域の大人の教育力を結集して、子ども達の放課後や週末の様々な体験活動や地域住民との交流活動を文部科学省が支援する事業「地域子ども教室推進事業」の一つです。  
 運営は「明治村 子どもかがやきプラン実行委員会」（博物館明治村とボランティアガイドの会『明治村学遊塾』）です。



## 現在開催している3つのイベント

### 折り紙建築シートの種類

- ・ 第八高等学校正門
- ・ 聖ヨハネ教会堂
- ・ 品川燈台
- ・ 金沢監獄正門
- ・ 聖サビエル天主堂
- ・ 帝国ホテル中央玄関



帝国ホテル中央玄関

**折り紙建築のススメ**

南園ホテル中央玄関（つくば市）の模型を再現する。これは大正12年（1923）に建てられた南園ホテルの一部です。建築設計したのは有名な建築家、フランク・ロイド・ライトです。ライトは建物だけでなく、椅子や衣類、時計、眼鏡などもデザインしました。

用意するもの  
 カッター  
 定規  
 カッター座  
 折り紙建築シート

作り方  
 ① 折り紙に書いてあるマークで型紙を切り取る。② 型紙の裏面に折り線が書いてある。③ 折り線に沿って折り、④ 型紙の裏面に書いてあるマークで折り紙を貼る。⑤ 完成品が完成する。

このイベントは、子どもたちが、紙を使って、自分たちの手で、明治村の歴史を再現する。そして、その過程で、紙の力、創造力、集中力、忍耐力などを身につけることができる。また、親子で挑戦したり、初めて会ったその場の友達と教え、教えられたいのも楽しい体験です。

## 明治村 子どもかがやきプラン 「参加カード」を集めよう！

「あそび」「折り紙建築」「ガイド」それぞれに参加するとスタンプがもらえます。5回参加してくれたら次のカードをゲット！  
 「Beginner」から始めて「Bronze」「Silver」……「Master」まであるよ。



### ② 「明治建築 つくり隊」

#### 折り紙建築教室

一枚の紙から立体的な建物をつくる「折り紙建築」。二次元の平面から三次元の世界が生まれます。明治村オリジナルの「折り紙建築シート」は全部で6種類。カッターで切り込みを入れ、建物を立ち上げます。作り方や建物の特徴などをやさしく説明します。



発見シート

### ① 「明治村 楽しくまわり隊」

#### 子ども向けガイドツアー

子どもならではの目のつけどころに着目したユニークなガイドツアーです。建築物に使われている植木文様を探しながらの建物見学など、子どもたちと一緒に明治建築の謎解きをしていきます。  
 (所要時間30分〜60分)

### ③ 「明治deもつとあそび隊」

#### 昔のあそび体験

昔懐かしい遊びを体験。何回もチャレンジすると上達します。室内の遊びでは「お手玉」「剣玉」、屋外の遊びでは「竹馬」など、それぞれの遊び方や解説を加えながら、楽しく遊んでいただきます。また「羽根つき」など季節感のある遊びも登場します。親子で挑戦したり、初めて会ったその場の友達と教え、教えられたいのも楽しい体験です。



買ひ物双六 大正3年



少年未来旅行双六 大正7年

# 特別展 「はつはるの錦絵」から 絵双六

少し前までお正月の遊びにはかかせなかった双六。実は双六には二つの種類があります。普通、双六と呼んでいるのは「絵双六」で、もう一つは「盤双六」と呼ばれているものです。盤双六とは長方形の盤上に白黒15個ずつの駒を並べ、サイコロを振って敵陣を攻める二人でおこなうゲームです。この盤双六は、日本で最も古い盤上遊戯と言われ、各階層に愛好されたようですが、賭博性の強さからしばしば禁令の対象ともなりました。近世に入ってから賭博性はやや薄れ、むしろ女子の芸事の一つにも数えられるようになりましたが、その後次第に衰退していきまます。

一方、絵双六は紙に描かれた画面の「振り出し」から「上り」までをサイコロの目の数によって進んでいくものです。絵双六の前身といえるものに仏教用語の漢字による「仏教双六」があり、これに絵を入れ仏教の世界観を表した「浄土双六」が絵双六の始まりといわれています。その後、絵の内容が変わっていき「道中双六」や「役者双六」などが登場。やがて江戸半ば以降は錦絵の興隆にもなると、名所・出世・歴史・文芸など美しい絵双六が作られるようになり、庶民の遊びとして人気を得ていきます。錦絵の双六は明治時代にも引き続き盛んに作られ「文明開化双六」「時事双六」「戦争双六」など多岐にわたりました。江戸後期から明治にかけては、北尾重政、葛飾北斎、歌川広重、小林清親ら優れた浮世絵師、画家の手によって芸術品としても見事な双六が数多く生まれています。明治後半になると手刷りに代わって機械印刷が主流を占め、毎年雑誌のお正月号には付録として付くのが慣例となり、実に様々な絵双六が流通しました。

双六は、時代の世相や生活、教育等を克明に描写しており、また、時代により価値観の異なる「出世双六」や雑誌の付録となった双六から当時の少年・少女の夢がうかがえます。盤に描かれたカラフルな絵には庶民の夢が託されており、それらを読み解くことによってその時代の意識を知ることができる興味深い資料といえそうです。



郵便電信双六 明治35年



大日本帝国国会双六 明治23年



新案婦人風俗双六 明治38年

重要な役目を果たし続けています。

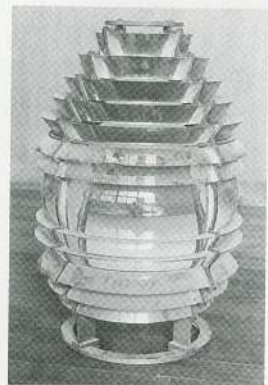


写真1

フレネルの原理に基づいており、フレネル・レンズは燈台にはなくてはならない重要な役目を果たし続けています。

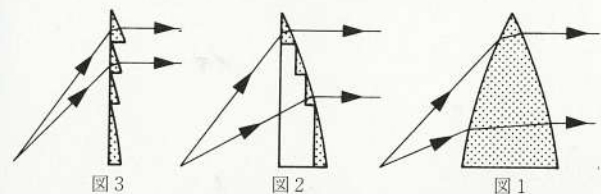


図3 「航路標識のはなし」社団法人 燈台協会より

明治三年に東京の台場に建てられた品川燈台(3丁目29番地・重要文化財)は、観音崎・野島崎について日本で三番目に建てられた洋式燈台です。大正十二年の関東大震災により先の二燈台が倒壊したため、日本で現存する最古の洋式燈台となりました。燈台は大きなレンズの明かりで船の安全を守ってきました。この品川燈台の明かりは点滅しない不動灯で、光は約十八キロ先まで届きました。レンズはフランスから輸入した十三層のフレネル式の不動レンズを使用しています(写真)。

フレネル式とは、光の偏光や複屈折の研究を重ね、光に関する新しい考えを応用し燈台のレンズを発明したフランスの物理学者オーギュスタン・フレネル (Fresnel, Augustin Jean) の名前からつけられその特徴は表面が凸凹している点にあります。普通の凸レンズは、丸くて中央が膨らんだ物ですが、灯台のように何キロも先まで、光を届けるための大きな凸レンズを作ると中央が厚くなりすぎて困ります(図1)。そのため、凸レンズを削ることで、厚みと重さを減らし(図2)、そして、光の進み方を変えることなく作りやすい形にしました(図3)。これは光学的に凸レンズや凹レンズの効果を持ちながら、形状は平板状のレンズということになり軽量化に大きな効果を発揮しています。さらに大きな燈台のレンズはフレネル式のレンズにプリズムを組み合わせて、より強い光が出せるようになっていきます。

時代と共に燈台のレンズも改良されましたが、現在でも燈台で使用されているレンズのほとんどはフレネルの原理に基づいており、フレネル・レンズは燈台にはなくてはならない重要な役目を果たし続けています。

明治村の坐漁荘には、当時の日本では高価な板ガラスであると共に、品質が厳選されたヴァイタガラスが嵌め込まれています。近代史を振り返りながら、一度訪れてみてはいかがでしょうか。

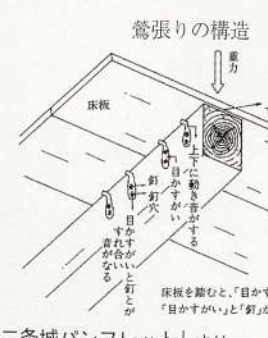


「二条城パンフレット」より

坐漁荘の建築時、国産の板ガラス生産は既に始まりましたが、「元老西園寺公の老体(風邪でも罹らぬよう)」との政府の配慮もあったようで、南側(現在は入鹿池側)に面した建具は、階上階下とも紫外線を透過する「並厚ヴァイタガラス (Vita Glass)」が使用されています。現在では日焼け等の原因となり、疎まれる紫外線ですが、当時は日光浴が健康によいとのこと、このヴァイタガラスは部屋にいなながら日光浴ができる画期的なものとされていました。

坐漁荘の建築にあたり、急ぎ必要になったヴァイタガラスですが、日本には在庫が無く通常輸入には数ヶ月を要するものでした。しかし運良く日本郵船の新造船で欧州航路の豪華船・諏訪丸がベルギーのアントワープ港を出港する間に政府の働きかけもあり、無事ガラスを積込むことができ、短期間で静岡まで運び、関係者を大変喜ばせたそうです。

坐漁荘の坐漁荘には、当時の日本では高価な板ガラスであると共に、品質が厳選されたヴァイタガラスが嵌め込まれています。近代史を振り返りながら、一度訪れてみてはいかがでしょうか。



「二条城パンフレット」より

坐漁荘の坐漁荘には、当時の日本では高価な板ガラスであると共に、品質が厳選されたヴァイタガラスが嵌め込まれています。近代史を振り返りながら、一度訪れてみてはいかがでしょうか。

坐漁荘の建築時、国産の板ガラス生産は既に始まりましたが、「元老西園寺公の老体(風邪でも罹らぬよう)」との政府の配慮もあったようで、南側(現在は入鹿池側)に面した建具は、階上階下とも紫外線を透過する「並厚ヴァイタガラス (Vita Glass)」が使用されています。現在では日焼け等の原因となり、疎まれる紫外線ですが、当時は日光浴が健康によいとのこと、このヴァイタガラスは部屋にいなながら日光浴ができる画期的なものとされていました。

坐漁荘の建築にあたり、急ぎ必要になったヴァイタガラスですが、日本には在庫が無く通常輸入には数ヶ月を要するものでした。しかし運良く日本郵船の新造船で欧州航路の豪華船・諏訪丸がベルギーのアントワープ港を出港する間に政府の働きかけもあり、無事ガラスを積込むことができ、短期間で静岡まで運び、関係者を大変喜ばせたそうです。

## フレネル・レンズ

明治三年に東京の台場に建てられた品川燈台(3丁目29番地・重要文化財)は、観音崎・野島崎について日本で三番目に建てられた洋式燈台です。大正十二年の関東大震災により先の二燈台が倒壊したため、日本で現存する最古の洋式燈台となりました。燈台は大きなレンズの明かりで船の安全を守ってきました。この品川燈台の明かりは点滅しない不動灯で、光は約十八キロ先まで届きました。レンズはフランスから輸入した十三層のフレネル式の不動レンズを使用しています(写真)。

## 坐漁荘のガラス

坐漁荘の建築時、国産の板ガラス生産は既に始まりましたが、「元老西園寺公の老体(風邪でも罹らぬよう)」との政府の配慮もあったようで、南側(現在は入鹿池側)に面した建具は、階上階下とも紫外線を透過する「並厚ヴァイタガラス (Vita Glass)」が使用されています。現在では日焼け等の原因となり、疎まれる紫外線ですが、当時は日光浴が健康によいとのこと、このヴァイタガラスは部屋にいなながら日光浴ができる画期的なものとされていました。

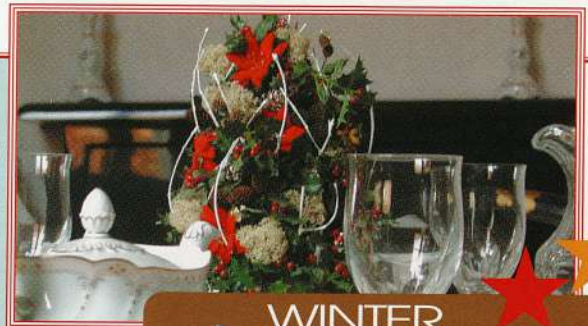
## 音の鳴る床

もう一つ音の鳴る床として一般的に知られているのは、二条城や知恩院などの床です。床板をきしませる音が鶯の鳴くように聞こえることから「鶯張り」と呼ばれています。鶯張りについてはいつ頃から作られたのかははっきりしませんが、おそらく江戸時代前期ごろから思われます。

鶯張りの音も床の張り方と関係します。上等の木造建築では、根太に床板を取り付ける際、釘頭の出るのを避けるため、床板の側面に目かすがい※の一端を打ち、他端を根太に打って留めますが、広い床板では両側が多少上方に反るので、かすがいの穴にいくらかゆとりをもたせてあります。これを踏むと目かすがいが上下し、目かすがいと釘が擦れ合い音がします。この効果については、当初から考慮されたものか、長い年月のあいだに自然にゆるみを生じてのものかは、はっきりしていません。

さて、坐漁荘二階の廊下の床については、果たして音の鳴る効果を考慮してつくられたかどうかはわかりません。ただ、当時は米騒動や普通運動の激化、金融恐慌、暗殺事件など暗いニュースの多い不安定な世の中であり、政界に影響力を持つていた西園寺公望の別邸「坐漁荘」には、いくつかの防衛策が講じられていることから、二階の床張りも侵入者対策の考えがあつてつくられたのではないかと想像を膨らますことができます。

※一端は帯状で釘穴があり、他端を折り曲げ、その先端を先ほどの「かすがい」の幅木、縁板などの取り付けに用いられる。



## WINTER 冬の明治村

### ◆天然水足浴「半田東湯」

表構え、番台などに江戸の湯屋のおもかげが残る「半田東湯」。この東湯で尾張富士の天然水を使用した暖かな足浴が体験できます。



**HOT ホットギャラリー** (12/11~2/27) 東山梨郡役所2階  
暖かな一室で心安らぐメロディーと、近岡善次郎氏の水彩画「明治の洋風建築」をお楽しみください。

### ★クリスマスイベント★

**クリスマスデコレーション**  
村内の教会堂や洋館がクリスマス装飾に包まれます。明治村ならではのロマンティックな雰囲気をお楽しみください。

**ハンドベルコンサート** (12/19 13:00~、14:00~)  
聖ザビエル天主堂  
金城学院中学校ハンドベルクワイアによるクリスマスコンサートです。讃美歌やクリスマスソングから冬のソナタまで人気の曲を演奏します。

**クリスマスミサ** (12/23 11:00~) 聖ザビエル天主堂  
ゴシック建築の聖ザビエル天主堂において荘厳なクリスマスミサが執り行われます。クリスマス装飾で飾られた教会堂内でのミサはどなた様でもご参加いただけます。

**クリスマスコンサート** (12/23 14:00~) 聖ザビエル天主堂  
クリスマス民謡や教会音楽を中心とした演奏会を開催します。

**ボランティアガイドツアー〈予約制〉**  
団体のお客様を対象とした予約制のガイドツアーです。ボランティアガイドとともに明治村を楽しく見学してみませんか。所要時間は1時間~1時間30分。モデルコースも各種取り揃えています。  
・ご予約は7日前(閉村日は除く)まで。

予約 TEL 0568-67-0314 明治村のホームページからも予約ができます。www.meijimura.com

※催事は都合により変更する場合がありますので、詳細については事前にお問合せ下さい。

平成16年12月11日(土)~  
平成17年2月27日(日)



### ●初春イベント●

**特別展「はつはるの錦絵」**  
(1/1~1/30) 三重県庁舎  
華やかな春をテーマにした錦絵と平成17年の干支「酉」の郷土玩具、そしてかつて雑誌のお正月号の付録「絵双六」を展示します。

**正月飾り** (1/1~1/10)  
村内の日本家屋を中心に伝統的なお正月飾りをいたします。新春の雰囲気をお楽しみください。

**新春鏡割り** (1/1 11:00~) 呉服座前  
犬山の地酒「東洋自慢」をお楽しみいただきます。

**祝餅つき** (1/2 12:00~・13:30~) 呉服座前  
パフォーマンスをしながらの餅つきです。つきあがったお餅は皆さんで召し上がっていただきます。

**祝太鼓** (1/3 12:00~、14:00~) 呉服座前  
にぎやかな太鼓と篠笛の演奏で新春をお祝いします。

### 明治村 開村40周年記念行事 オープニングイベント

#### ウィーン・ビーダーマイヤー・ゾリスデン ニューイヤーコンサート

開村40周年を記念して、「ウィーン・ビーダーマイヤー・ゾリスデン」を迎えてお届けする、新春の幕開けにふさわしい楽しいコンサートです。  
1月8日(土) 開場12:30 開演13:00 (聖ザビエル天主堂)  
料金: 全自由席 5,000円 (入村料含む)  
チケットはチケットぴあで発売中 ☎0570-02-9999

### 冬のお楽しみクーポンプレゼント (12/18~2/20)

期間中にご来村の皆様へ「馬車割引券」や「あそび割引券」などをセットした「割引クーポン券」をプレゼントいたします。

### 建物ガイド

村内4つの建物では、普段は入れない建物内部を下記の時間に学芸スタッフがご案内いたします。詳しい説明とともにご見学ください。  
西郷従道邸・東松家住宅・西園寺公望別邸「坐漁荘」・呉服座 (11:00 11:20 11:40 13:00 13:20 13:40 14:00 14:20)

### プレミアムガイドツアー〈予約制〉

明治の貴重な建造物などの文化財を、案内付きの電動車で巡る予約制のガイドツアーです。見学コースはお客様のご希望に合わせて設定いたします。所要時間は1時間30分。料金は4名様まで10,000円、5名様12,000円、6名様14,000円です。(入村料別)  
・ご予約は2日前(閉村日は除く)まで。